



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.87



7月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : http://www.kankou-fa.jp

2012年7月1日

新副会長就任にあたって

副会長 鈴木 裕

おかげ様で国際観光施設協会はこれまでの実績を認めて頂き、今年度より公益法人に認定していただきました。これを期により社会のお役に立つ組織としていかねばなりません。

認定にあたり評価頂いた公益性目的事業は次の三項目です。

公益目的事業1

地域の自然や土地の力を生かし、スマート(賢い)な、小さなエネルギーのシステム「エコ・小」を提言、普及する事業 (ex. ホテレスショーでのエコ達人村の無料相談デスク、エコ技術の普及啓蒙)

公益認定の法的根拠：地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的としている事業。

公益目的事業2

自然と共生する美しい景観や生活文化の保全と継承のため地域の自然や温泉、文化の特性を調査評価し、それぞれの土地の力を活かしたまちづくりの手法を提言する事業 (ex. 温泉フォーラム、観光交流空間のまちづくり研究会、三陸八海湾広域環状観光圏構想)

公益認定の法的根拠：文化及び芸術の振興を目的とする事業。国土の利用、整備又は保全を目的とする事業。地域社会の健全な発展を目的とする事業。

公益目的事業3

一般及び訪日外客のために施設の利便性や安全安心のための調査研究の成果や地域観光交流空間の作り

方や環境技術、課題となる情報等を社会全般に提供する事業(ex. 記憶に残したいインテリア空間について、その文化的価値と観光資産としての価値を調査し保存についての考察。観光施設及びそれを取り巻く環境(観光交流空間)についての見学会、講演会、セミナーの開催、季刊情報誌観光施設での情報提供)

公益認定の法的根拠：事故又は災害の防止を目的とする事業。地域社会の健全な発展を目的とする事業。

今後はこれらの事業を継続的に進めていきます。

また、新しい事業も検討していく必要があり、新年度より公益委員会を設置し活動していきます。新しい事業では、協会員力を広く結集しより公益性の高い事業を研究し、将来はCSR活動として受注できる体制を整備したいと考えています。現在のところ一部の会員を中心とした活動に留まっている既存公益事業に、多くの会員が参加できるように体制を整える必要があります。そこで、公益事業1ですでに活動しているエコ技術の問題についてもう少し間口を広げ、協会員全員が参加しノウハウを提供してもらおう活動を始めています。これにより当協会のエコ技術に関する総合力を結集し新規公益事業開発の緒としていきたいと考えていますので、皆様のご指導ご協力を宜しくお願い致します。

平成24年度の通常総会と関連行事報告

去る6月15日、椿山荘にて、平成24年度通常総会が開かれました。議案については滞りなく承認されました。総会后、「椿山荘歴史文化講座」と題して藤田観光(株)歴史文化事業推進課担当部長の福井三千男様よりご講演をいただきました。その後庭園を舞台に椿山荘三重塔など歴史散策ツアーが行われ、情報交歓会も盛況でした。総会に先立ち観光庁より寺田観光産業課長にご挨拶をいただきました。

議長 中山 会長

議案

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 平成23年度事業報告 | 森 副会長 |
| 2. 平成23年度収支決算報告 | 山方 副会長 |
| 3. 賛助会員年会費の改訂 | 山方 副会長 |

報告

- | | |
|-------------|--------|
| ・平成24年度事業計画 | 涌井 副会長 |
| ・平成24年度収支計画 | 山方 副会長 |
| ・公益事業について | 鈴木 副会長 |

永年功労者表彰4名(敬称略)

委員・幹事永年表彰

- | |
|-----------------------|
| 南 三一郎、加藤忠勝、倉橋英太郎、才野忠敬 |
| 退任役員1名(敬称略) 吉田正嗣 |

情報交歓会では観光庁ほか観光関係団体より多くの方々のご臨席を賜り次の方々にご祝辞をいただきました(参加者164名)

- | |
|-------------------|
| 観光庁 審議官 志村 格氏 |
| 日本観光振興協会副会長 船山龍二氏 |
| 日本温泉協会会長 廣川允彦氏 |

(司会：立石博巳、馬場博久)

地図師散歩屋・高橋美江さん・建築部会セミナー

真面目に不良な肝っ玉母さんのセミナーは寝てるひまなし。いつ生徒に質問がくるか、緊張のセミナー。『?』が『!』を生む街の隠れた秘密を暴露する心眼の秘密はどこにあるのか。専門はまちの“おもて”と“け”の世界を見つめる[お散歩民俗学者]とゆう。都内の観光地のほとんどの絵地図 銀座、深川、柴又、そして善光寺や小布施さらには横浜等ときりがなくらい町の絵地図を描きまくっている。『け』とは何か、路地にある、ベンチや植え込みゴミ箱そしてガードレール、道路におかれた洗濯機にいっきとアジサイが育っている。先人の発想力に新たな発見と価値をみいだす。

お茶とクッキーで六本木の国際文化会館での昼下がりセミナーは、26名の参加者と楽しくすごせました、セミナー後たまたま持参していた美江さんの著作本は、おまけの絵地図もついて好評完売、予約購入まで生まれたセミナーでした。

『東京ガス アースポート』見学会報告

アースポートは東京ガス株式会社の環境対応実証ビルとして1996年に造られ、トップレベルの省エネルギーオフィスとしての取り組みが評価され、多数の賞を受賞しました。又、2030年に向けてネット・ゼロ・エネルギービル(ZEB)化を目指す事業の一環として一部改修を行った結果、「東京都地球温暖化対策計画書制度」2005年度実績値のエネルギー消費原単位2,518MJ/m²年に対して一次エネルギー消費量は40%減となりました。現在3年間の稼働検証が進行中ですが、さらなる高効率化やエネルギーの面的利用の推進等により、一次エネルギー消費量を正味ゼロにする事を目指すという他に例を見ない試みを見聞し、エネルギー事情が切迫する世情を鑑み、是非成功してほしいと期待するは私だけでしょうか。

タイムリーな内容を実感させていただき、大変参考になりました。東京ガス株式会社関係者の皆様に感謝申し上げます。

藤田観光(株)第二回東日本大震災復興支援ディナー

～虹の向こうに美しい東北がある～

すでに藤田観光(株)より東日本復興支援ディナー「フランス料理の夏の夕べ」虹の向こうに素晴らしい東日本の故郷がある の開催案内ならびに趣意書に接しておられると思います。「一日も早く素晴らしい景観の故郷を復興しよう」の思いは当協会も同じで、東日本大震災後いち早く復興支援委員会を立ち上げ『世界的に美しい海湾の街を創造しよう』との構想をもとに被災地の方々とともにシンポジウムを開き、公益事業の重点活動として提言してまいりました。どうか東日本復興支援ディナーの開催に賛同していただき、東北地方の食材を使ったおいしい料理と東北地方の美味しい地ワインを楽しみ、一人でも多く参集しその一部をチャリティとして東北の復興を願いたいと考えます。是非ご参加して頂きますようお願い申し上げます。

ご予約は次の通りです。

「フランス料理の夏の夕べ」

日時：7月10日(火)開宴19時(受付18:30)

会費：18,000円(うち5,000円寄付)

締切日：7月4日(水)

ご予約：03-3943-3913(椿山荘予約センター)

情報誌「観光施設」への広告掲載のお願い

季刊情報誌もお陰さまで本年7月銀河号発行で記念すべき300号を数えることとなりました。平成19年以降、情報誌として内容の充実を図ってまいりましたが、今回の300号では、これまで広報委員として発行に携わった方々の座談会や第1号からの表紙の変遷等、興味深い内容となっています。

今年度の発行も残り10月紅葉号と1月黎明号の2回の発行となりますが、他の建築・設備に関する雑誌とはひと味違った内容にご注目いただき、ぜひ貴社のイメージアップのため、新技術・新商品などをPRする場としてご活用していただきたく存じます。掲載にあたっては事務局までお問い合わせください。

☞ 第99回ゴルフ会報告及び

第100回大会のご案内 ☞

春のゴルフ会を2012年5月16日に都内の名門『相武カントリー倶楽部』で開催しました。

当日は天候にも恵まれ、各ホールで「魅せるところあり」「笑わせるところあり」と様々なドラマが生まれ、笑顔の耐えない一日となりました。激戦を制し、優勝したのはスミノエの清水氏でした。

今回新たに参加いただいた会員の方々もおられ、表彰パーティでも和気あいの雰囲気なか、とても盛り上がった大会になりました。

次回第100回記念大会は水戸の『笠間東洋ゴルフ』で開催、宿泊を含めた懇親会も水戸駅前の三の丸ホテルで予定しております。

11月16日(金)ゴルフプレイ・17日(土)朝解散。日帰り可。第100回を記念して、大会のオリジナル賞品、特別賞品も用意させていただきます。今後も会員皆様の有意義な交流の場として楽しんでいただけるゴルフ会にしていきたいと考えております。

皆様お誘いあわせの上、記念大会への多数のご参加をお待ちしております。

♥編集後記♥

公益法人として初めて開かれた総会において、今年度の事業計画が報告されましたが、これまで進めてきた事業も改めて公益事業として位置づけられ、いよいよ本格的な公益法人としての事業がスタートします。会長より、この大きな目的を達成するためには全員の協力が必須とお話をいただきましたが、そのためにも会員同士の交流を今以上に進める必要があるように感じます。委員会や部会によって会員同士が交流を深め意見交換ができる機会を出来るだけ多く準備していただき、私達はそのような場に積極的に参加することによって意志の疎通を計り、一致団結して事に当たってまいりたいと思います。